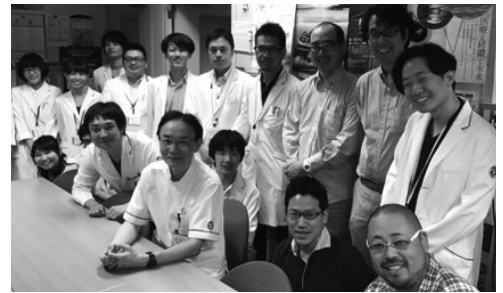


精神科

名古屋大学医学部附属病院

病院長名	石黒 直樹
所在地	〒466-8560 愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65番地
交通案内	JR中央線「鶴舞駅(名大病院口)」下車 徒歩3分 名古屋営地下鉄「鶴舞駅」下車 徒歩8分



精神科

病院の特徴

名古屋大学では従来より、卒前から卒後に至る一貫した臨床医学教育を実現するために、『総合医学教育センター』を設置するとともに、2008年度からは、初期研修後の専門医育成も支援するために、『卒後臨床研修・キャリア形成支援センター』として機能充実を図り、研修サポート体制の拡充を行った。これにより、名大研修の特徴である関連病院と密接に連携した質の高い臨床教育をより円滑に推進できるようになった。すなわち、2年間の初期研修のみならず、後期・専門研修のキャリアパス整備とキャリア形成の積極的支援など、後期研修や専門研修においても、病院として責任を持った体制が確立したと言える。各種教育ツールを一括管理してシミュレーションによるトレーニングを進めるとともに、OJT(On the Job Training)を重視して臨床手技の習得が速やかに行われるように力を注いでいる。

研修プログラムの特徴

【研修プログラム名】

名古屋大学精神科・児童精神科専門研修プログラム

【研修目標】

患者・家族の感情体験の正当性(健康面)を承認(validation)し、適応的な側面を支持強化する能力、問題解決能力、根拠(証左)に基づいた医療を行う能力、協働する能力、高い倫理性を備えた精神科領域専門医を目指す。

【研修期間】

3年

【研修スケジュール】

基幹施設である名古屋大学医学部附属病院で行われる2年間の前期大学病院研修と、連携施設である公的精神科病院・一般病院・民間精神科病院で行われる3年目以降の後期連携施設研修からなる。

前期大学病院研修中には、指導医と主治医グループとして診療にあたるだけでなく、多職種とのチーム医療を実践する。抑うつ障害、双極性障害、統合失調症、摂食障害、認知症、睡眠障害、自閉スペクトラム症、注意欠如・多動症等の多様な精神疾患について、診断および治療を学ぶことができる。さらに、コンサルテーション・リエゾン精神医学の経験を多く積むことができる。多様な専門性を有する精神科専門医・指導医(19名)、精神医学研究者による、専攻医向けセミナー、研究遂行に必要なノウハウを学ぶセミナーなど多様で充実した教育機会を計画的に実施している。

後期連携施設研修では、連携公的精神科病院2施設・民間精神科病院26施設を中心とした研修を行う。これらの施設は全て病床を持ち、閉鎖病棟や隔離室などの設備も備えている。3年目専攻医は、これらの施設の常勤医として、各施設の指導医の指導のもと、精神科救急症例、行動制限症例、地域医療症例を中心に臨床経験を積む。各施設は地域の精神科医療において中心的な役割を担っており、地域医療を経験することができる。

なお、連携民間精神科病院の研修先を選択する際は、専攻医の希望が優先され、専攻医同士で希望が重複した場合などに調整を行うことはあるが、当科から研修施設を指定することはない。

主な連携施設

愛知県精神医療センター、国立病院機構東尾張病院、愛知県精神保健福祉センター、あいち小児保健医療総合センター、愛知県心身障害者コロニー中央病院、安城更生病院、国立病院機構名古屋医療センター、小牧市民病院、総合上飯田第一病院、中京病院、西尾市民病院、半田市立半田病院、あいせい紀年病院、桶狭間病院藤田こころケアセンター、笠寺精治療病院、可知記念病院、刈谷病院、北津島病院、京ヶ峰岡田病院、共和病院、仁大病院、精治療病院、松蔭病院、松崎病院豊橋こころのケアセンター、南豊田病院、もりやま総合心療病院、八事病院、大垣市民病院、大垣病院、岐阜病院、聖十字病院、国立病院機構榊原病院、総合心療センターひなが、多度あやめ病院、北勢病院、松阪厚生病院、静岡済生会総合病院、朝山病院、三方原病院、名古屋第一赤十字病院、三河病院、愛知県三河青い鳥医療療育センター、豊田市こども発達センターのぞみ診療所

メッセージ

指導医

教授 尾崎 紀夫



児童から老年期までの幅広い精神障害を対象として、心理面、身体面、患者の置かれている社会的立場といった多面的な視点を持ち、患者・家族のニーズ(気持ち)を踏まえた診療・研究を心がけています。精神現象という最も人間らしい事柄を対象とし、多様性を尊び、公平な医局運営をしています。精神障害を、様々の立場から診療し、研究する、多様な志向性を持った人材を歓迎します。

募集要項

採用予定人数	20人	
給与/月額	月額約20万円に加え、該当する場合に手当(通勤手当、超過勤務手当、夜勤手当、特殊勤務手当(夜間診療業務手当等))を支給	
当直回数/月	約4~6回/月 (専攻医数及び連携民間精神科病院による)	
当直料/回	20,000円/回	
その他	平日日勤帯の外勤等(週1日まで)可	
応募連絡先	担当者	尾崎 紀夫
	電話番号	052-744-2282
	Eメール	ozaki-n@med.nagoya-u.ac.jp

名古屋市立大学病院



病院長名	小椋 祐一郎
所在地	〒467-8602 愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1
交通案内	地下鉄：桜山駅下車3番出口 直結 市バス：「市立大学病院」または「市立大学病院」下車

精神科

病院の特徴

当院は808床の病床、30の診療科を有し、地域の中核医療機関として日々安全で開かれた医療を提供しています。

外来診療棟、病棟・中央診療棟に続き、近年増加するがん患者さんに対し、高度な診断や先端治療を併用する集学的な治療が行えるように、平成24年には喜谷記念がん治療センター（東棟）を開院しました。がん診療拠点病院や救命救急センターの指定・認定を受けると共に、高度急性期病院・特定機能病院としての役割を果たすよう努めると共に、教育研究機関として優れた医療人の育成に努めています。

研修プログラムの特徴

名古屋市立大学病院連携施設精神科専門医研修プログラムは全21施設から構成され、専攻医のニーズに応じた多様な研修パターンを可能としています。一般的には、1～2年目を研修基幹病院である名古屋市立大学病院で、3年目を精神科無床総合病院と単科精神科病院、または有床総合病院で研修します。3年間の精神科臨床研鑽の結果として、専門医に加えて精神保健指定医も取得できるよう指導します。このようにして、本プログラムの目標である「真の精神科専門医としてのhelping professional」を目指します。

<研修モデル>

	1年次	2年次	3年次(例1)	3年次(例2)	4年次
4月	名古屋市立大学病院	名古屋市立大学病院	無床総合病院	有床総合病院	専門医試験指定医申請も可能。希望に応じてサプスペシャリティ研修、大学院進学等
5月					
6月					
7月					
8月					
9月					
10月					
11月					
12月					
1月					
2月					
3月					
			単科精神科病院		

詳細は名古屋市立大学病院総合研修センターHPを参照
http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/kensyu-c.dir/specialist_prg/dept.html



主な連携施設

あいせい紀年病院	豊川市民病院
小児心療センターあすなろ学園	豊田西病院
稲沢厚生病院	公立陶生病院
笠寺精治療病院	名古屋市立西部医療センター
岐阜病院	名古屋第二赤十字病院
協立総合病院	松蔭病院
楠メンタルホスピタル	三方原病院
聖十字病院	南生協病院
精治療病院	南知多病院
聖隷浜松病院	八事病院
	全21施設

メッセージ

信頼される精神科医への道。
 Helping Professionalへの道とともに歩みましょう!

精神科 部長 明智 龍男



精神医療の最も大きなやりがいは「患者さんの人生全体に関わることができる」という点ではないでしょうか。私たちは、単に診断し薬を処方するのではなく、病の背景に存在する複雑な疾患形成・維持過程である「フォーミュレーション」を立て、エビデンスも活用して、患者さんの生きる力を支える

専門医を育てます。医を学び、術を身につけ、患者さんを支える道と一緒に歩みませんか。

募集要項

採用予定人数	数十人 ※全領域あわせて人数であり、領域別の詳細の人数は各プログラム責任者と相談の上決定	
給与/月額	228,000円～478,000円 (勤務区分・各診療科の外勤の状況により異なる)	
当直回数/月	4回程度(診療科により異なる)	
当直料/回	24,000円～34,000円	
その他	年間有給休暇20日間、通勤手当、協会けんぽ、厚生年金保険、雇用保険、労災保険等あり	
応募連絡先	担当者	医学・病院管理部教育研究課医療人育成係 専攻医募集担当
	電話番号	052-853-8545
	Eメール	s-kensyu@med.nagoya-cu.ac.jp

※名古屋市立大学病院で勤務する場合

藤田保健衛生大学病院

平成30年1月 新棟オープン



病院長名 湯澤 由紀夫

所在地 〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪1番地98

交通案内 名鉄線名古屋駅より(22分)前後下車、名鉄バス(15分)「大学病院」下車 / 桜通線名古屋駅より(35分)徳重駅下車、名古屋市営バス徳重13系統または名鉄バス(16分)「大学病院」下車 / 鶴舞線伏見駅より(21分)原駅下車、名古屋市営バス徳重13系統(33分)「大学病院」下車

病院の特徴

当院は名古屋市に隣接しており、道路を渡ると名古屋市という好立地にあります。多種多様な疾患に対応しており、DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」で当院のDPC件数が全国の大学病院の中で第1位となりました。(平成26・27年度)

統合失調症、気分障害、不安障害、認知症、睡眠障害、がん・移植患者の心のケアなど幅広く対応し、措置入院および応急入院の指定も受けています。修正型電気けいれん療法は県内トップクラスです。臨床心理士、作業療法士、精神保健福祉士など、多職種の連携によるチーム医療を推進しています。リエゾン・コンサルテーション、緩和ケア、臓器移植、クロザピン治療などで他科との連携も重視しています。

研修プログラムの特徴

【研修プログラム名】

藤田保健衛生大学病院連携施設 精神科専門医研修プログラム

【研修目標】

真摯な診察姿勢と、確かな診察技術・リサーチマインドを併せ持った精神科医師を育成します

【研修期間】

3年

【研修スケジュール】

推奨する標準コースの場合、初年度は大学病院で研修開始し、大学教員職(常勤)をもちつつ、社会人大学院生としての履修も同時に開始することができます。(この場合、専門医、精神保健指定医、学位の3つの取得を同時に進めることが出来ます)1年目は病棟診療とコンサルテーションリエゾンを中心に、2年目は加えて外来診療の研修も開始します。2年目からは学位取得のための研究テーマにも着手します。この間、大学病院ならではの高度な診療(電気痙攣療法、リエゾン、クロザピン治療、精神療法、EBM、睡眠障害診療など)も研修することができます。3年目に連携施設にて、地域精神医療を中心に研修を行います。(なお、連携施設での研修の時期等は、状況に応じて他のパターンの相談も可能です)大学での研修中にも、週1回外勤の形で連携施設での研修を平行して行うことが可能です。

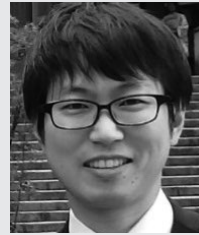
主な連携施設

仁大病院、桶狭間病院藤田こころケアセンター、藤田メンタルケアサテライト、藤田メンタルケアサテライト徳重北、大府病院、神経科浜松病院、もりやま総合心療病院、トヨタ記念病院、聖十字病院、松蔭病院、まつかげシニアホスピタル、共和病院、刈谷病院、豊田西病院、八事病院、国立長寿医療研究センター、あいち小児保健医療総合センター、北メンタル・クリニック、愛知県精神医療センター

メッセージ

指導医

講師 齋藤 竹生



後期研修医が多く在籍し、互いに支え合いながら和気あいあいと日々診療・研究に取り組んでいます。毎年新しい仲間が入ってきてくれますが、色々なバックグラウンドを持ち、出身大学も様々です。女性医師も多くいます。

後期研修医は診療チームの中心となって、入院・外来診療やコンサルテーション・リエゾンに取り組むため、精神科医としての基礎をしっかりと固めることができます。多種多様な患者さんの診療に主体的に関わることは駆け出しの医師にとっては貴重な経験です。ただ、経験の少ない医師は診療で行き詰まることがあります。当科の研修医は上級医と密にコミュニケーションをとり、気兼ねなく何でも相談して、問題を乗り越えています。そして仲間や指導者と一緒に経験を深め、遅く成長しています。もちろん、臨床だけでなく世界的な最先端の研究を進めている指導医のもと、研究に取り組むこともできます。興味のある方はぜひ一度見学に来てください。この風通しのよい自由な雰囲気を経験していただければと思います。ぜひ一緒に学びませんか?

募集要項

採用予定人数	10人	
給与/月額	基本給:月額268,840円 別途、賞与、その他各種手当、その他支給あり	
当直回数/月	約3回/月	
当直料/回	当直12,000円/回 オンコール手当7,000円/回	
その他		
応募連絡先	担当者	北島 剛司(医局長)
	電話番号	0562-93-9250
	Eメール	seishin@fujita-hu.ac.jp

愛知医科大学病院



病院長名	羽生田 正行
所在地	〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1
交通案内	地下鉄東山線藤が丘駅下車 病院行き名鉄バスで約20分 東名高速名古屋ICから車で約15分

精神科

病院の特徴

当院は1974年に開院した大学病院です。充実した設備と最新の診療体制を整え、名古屋市東部の中核医療施設として地域医療に幅広く貢献しています。特定機能病院、高度救命救急センター、基幹災害医療センターなどに指定され、2017年5月1日付けでNPO法人卒後臨床研修評価機構の定める認定基準を達成していると施設として4年認定の更新がされました。

2014年5月に新病院が開院し、「元氣ホスピタル～あなたを元気にする。私も元気になる」を病院のスローガンに、職員一丸となって日々精進しています。先進医療と最適な医療環境を提供し、患者さんが元気になること、もちろん、医療体制の分業化や本来業務の特化を図る事で、医療従事者も効率的に働ける病院を目指しています。

研修プログラムの特徴

【研修プログラム名】

愛知医科大学病院 精神科研修プログラム

【研修目標】

あらゆる種類の精神科疾患を一通りまずは体験し、自立して診療ができるようになることを最低限の目標とする。その上で、可能な限り専攻医の皆様が興味を持つ技能や知識を自分のペースで吸収できる場を提供したいと考えております。

【研修期間】

3年

【研修スケジュール】

典型的には1年目に基幹病院である愛知医科大学病院をローテートし、精神科医としての基本的な知識を身につける。2～3年目は愛知医科大学病院のほか、総合病院精神科、単科精神科病院、認知症疾患医療センターより研修先を選択し、身体合併症治療、難治・急性期症例、児童症例、認知症症例、てんかん症例を幅広く経験し、精神療法、薬物療法を主体とする治療手技、生物学的検査・心理検査などの検査手法、精神保健福祉法や社会資源についての知識と技術を深めていく。これら3年間のローテート順及び期間については、本人の希望に応じて柔軟な対応を検討する。なお、到達目標は以下の通りである。

- 1年目:基幹病院または連携病院で、指導医と一緒に統合失調症、気分障害、器質性精神障害の患者等を受け持ち、面接の仕方、診断と治療計画、薬物療法及び精神療法の基本を学び、リエゾン・精神医学を経験する。とくに面接によって情報を抽出し診断に結びつけるとともに、良好な治療関係を構築し維持することを学ぶ。院内研究会や学会で発表・討論する。
- 2年目:基幹病院または連携病院で、指導医の指導を受けつつ、面接の仕方を深め、診断と治療計画の能力を充実させ、薬物療法、精神療法の基本的考え方と技法を学ぶ。精神科救急に従事して対応の仕方を学ぶ。院内研究会や学会で発表・討論する。
- 3年目:基幹病院または連携病院で、指導医から自立して診療できるようにする。心理社会的療法、精神科リハビリテーション・地域精神医療等を学ぶ。外部の学会・研究会などで積極的に症例発表する。

主な連携施設

三重大学	仁大病院
豊田厚生病院	杉田病院
一ノ草病院	聖十字病院
犬山病院	総合心療センターひなが
上林記念病院	豊田西病院
京ヶ峰岡田病院	のぞみの丘ホスピタル
絨仁病院	松蔭病院
衣ヶ原病院	まつかげシニアホスピタル
七宝病院	

メッセージ

指導医

准教授 大島 智弘



精神神経科がかかわる範囲は、うつ病や統合失調症だけでなく、てんかんや認知症など脳疾患としての精神科疾患の評価と医学的治療、職場や学校での不応への心理的なサポート、社会資源を利用した生活指導まで多岐にわたっています。あらゆる種類の精神科疾患を一通りまずは体験した上で、可能な限り専攻医の皆様が興味を持つ技能や知識を自分のペースで吸収できる場を提供したいと考えております。なお、子育ての中の女性に関しては、状況に応じて当直免除、当直回数の減免などを行っていますのでご相談ください。

募集要項

採用予定人数	20人(3年間で)	
給与/月額	基本給167,200円 +地域手当+調整加算手当等 約56,000円	
当直回数/月	2～3回	
当直料/回	(救急外来)宿直手当 約32,000円 (病棟)宿直手当 20,000円	
その他	通勤手当、住宅手当、扶養手当、賞与(年2回)、社会保険等(日本私立学校振興・共済事業団(健保・年金))、健康診断 ※診療科から外勤の斡旋があります。	
応募連絡先	担当者	大島 智弘
	電話番号	0561-62-3311
	Eメール	tomohiro@aichi-med-u.ac.jp